

会員さん紹介

河村登志夫さん(在比歴25年) ◇出生:1950年1月 ◇出身:大阪市東淀川区



日本にいた時はプロのミュージシャンとして活動。初めてフィリピンにきたのは1976年バンドの友人だったフィリピン人が帰国する時に誘われたのがきっかけでした。最初の印象は何かしら特殊なニオイでした。

あとでそれはココナツオイルの匂いと解りました。それと誰もが皆優しいと感じたこと。その後私のレベルとしては大きな被害に遭うとも知らずに?。何度か訪れていたある時、人に渡すため持ってきた150万円を信じていたフィリピン人に持ち逃げされたことがこの国に住む決意の発端となりました。何故!って、私も大阪の人間としてささやかながら根性がありまして「何とか仇をとりた」と思って先ず日本に帰り改めて150万を作り、更に若干の生活費を稼いで再度フィリピンにやって来ました。マビニ周辺で水商売をしながら持ち逃げした相手を

探したのですが私の行動範囲は極めて狭く、反対に相手は何千もある島を自由に動き回れる立場です。ゆえに「捕まえるまでは日本に帰らない」と決めた意地が未だに私をフィリピンに縛り付けています。25年の間それはそれは大変な時期がありました。特に6年もの年月を店の天井裏で、中腰以上になれない狭い場所で生活をしたことが忘れられません。基本的に人に迷惑をかけるような商売や稼ぎ方はしたくないのでギリギリ生きてるだけの生活でしたがそれが幸いしたのか良き友人と信用を得て現在に至ります。最近マビニでカラオケ店を開業してやっと普通の生活が出来るようになりました。気が付けばこんな歳になっていたというのが実感です。この先、一つはまだあの男を捕まえるのを諦めていません。もう一つは、小さくてもいいからライブハウスを作るのが夢です。親睦会はたくさんありますが25年間どこにも属しませんでした。シルバークラブに入会したのが初めてです。(次回は畑信昭氏)

宮わばジュニアシルバーの白井氏



近くシルバークラブのゴルフ大会を開催する予定です。某日その場所の下見と練習をかねて4名の会員がゴルフに出かけました。で、話しはそれではなくその中にいた白井正徳氏という会員のこと。同氏は1954年

生まれ、愛知県名古屋出身。現在ビジネスで日比を往復しているがこちらにも住まいがある。ところで白井氏は51歳、会員基準の55歳には間があるが今月号第3頁のご案内欄にあるように年齢・住居に基準は設けているが特に拘らない。と示されたのに従って敢えて会員となった。ゴルフ終了後、夕食の席で白井氏にインタビューが集中した「出身地は?何歳?初めて来たのは?印象は?まだ若いんだネ」。そのうち「親睦会は他にもあるのに」・「あんたの場合シルバー(銀)の一步手前だしブロンズ(銅)クラブでも作れば」。「だって会員の中にはゴールドの域に達した人もいるのに、ボクが会員になっても問題ないでしょうに」などの会話があったかどうか定かではないが、昼間の疲れにビール心地よさが加わって口もなめらかに次々と話題が変わり話が盛り上がっていた。同氏は、将来フィリピン1本でいく考えだが現在のところは探っている状態。ただこちらに来た時は先輩達の指導を受けてフィリピン生活をエンジョイしているという。楽しみは子供の成長と笑顔が一番です、と、こちらの方はキッチリ「シルバー的心境」。一見は強面だが笑えば少年のような白井正徳氏だった。今度は55歳になられた時「会員さん紹介」で正式にインタビューします。

タクシードライバーあれこれ

◇その1、シートベルト シートベルト未着用者が反則金や見逃し料をとられた話しをよく聞きます。先日、マガリヤネスから乗ったタクシーの運転手、渋滞のエドサ通りを避けて抜け道からブエンディアに出た。この運転手ロハスに入る手前で何か異常を感じたのか停止して車を降り、左側後輪をチェックに行った。私は何か不自然さを感じていたが少し考えごとをしていたので特に気にとめていなかった。その間僅か5~6秒くらいでしょうか、帰ってきた運転手ドアを開けて上半身を乗り込ませたのですが何と左肩から右腕にかけてシートベルトが着用?されているじゃないですか。急いで降りたので忘れていたのでしょうか(イミテーションってことを)目と目が会って運転手はニタッと笑った。フィリピンでは安全対策(もとイ!、警察官対策)としてシートベルト着用の意識しっかり行き渡っています。

◇その2 メーター 不愉快なことの一つにメーターを倒さない運転手がいる。そういうドライバーに限ってカタコト日本語で話しかけたりジョークなど言って友好ムードを作ろうとするけれど下心が見え見えである。扱い慣れていれば対処出来るが不慣れた人もいる。100ペソや200ペソくらいどうでもいいという旅行者なら別だが、10ペソの重みを知る者達には気分のいいものではない。こんなとき
○ *ibaba mo ang metro* (イババモ アン メトロ=メーターを倒してくれ) と言ってみるか、または
○ *hindi ako tourist* (ヒンディ アコ ツーリスト=俺は旅行者じゃない) などと言う方法があります。それでも聞かなければ降りるのが無難でしょう。

S C M I

マニラ シルバー クラブ

SILVER CLUB OF MANILA INC.

(S.E.C. Reg. No. A200006264)

シルバークラブのご案内

会の内容について、質問を受けた会員が個々に説明していましたが
10周年を機に「シルバークラブ」ここにまとめてご案内致します

1. 名 称：[シルバークラブ]一般的な呼び名。・・・正式名称 [SILVER CLUB OF MANILA INC.]。
2. 立 場：フィリピン当局に登録、正式に認可を受けたNPO組織。[S.E.C. Reg. No. A200006264]。
3. 目 的：お年寄り同志が集まって日本語で気軽に話し合い、情報交換など行える心の拠り所の場。
4. 事 業：現在・将来的に手がける予定なし。負担を感じさせない、強制しない、義務付けない会。
5. 会 員：基本的には年齢55歳以上。フィリピンに住み真面目な市民生活をしておられる日本人。
6. 特 性：お年寄りが気軽に集まって日本語で話し合えるお年寄りのための純粋な親睦会。従って、
 - ◇ 一応年齢基準を55歳から、また住居はフィリピンとしていますが特に拘ってません。
 - ◇ 入会希望される方は受け付けていますが、会員の募集に関する活動は行っていません。
 - ◇ 会費・運営資金など徴取しません。 ◇ 会員さんが負担を感じる活動は行いません。
 - ◇ 華やかさは求めず地道に継続する。 ◇ 会の名を上げ発展させる事が目標ではない。
 - ◇ 経験豊富な会員がたくさんいます。 ◇ 会員は平等の立場で上下関係はありません。
 - ◇ 月1回、第3土曜日に懇親会開催。 ◇ 会の主役は常にその時出席された会員さん。
7. その他：公認の会としてメイヤスパーミットも取得しています。Las pinas Mayor Permit No. 1495。
人生経験豊かな会員さん、各種の経歴や珍しい体験をお持ちの方がたくさんおられます。
従って、会員同志の付き合いの中から知恵や情報を得て「転ばぬ先の杖」として下さい。
会員さんに最小限のサービスとして、お知らせ版程度の簡単な広報紙を配布しています。

◎シルバークラブに関する質問、お問い合わせがありましたら TEL:820-3140 石山まで。

会員さんが部外の方からシルバークラブについて質問された時の参考
としてもう一度、次号にも第3頁にこれと同じものを付け添えます。